

令和2年8月17日

地球規模保健課題解決推進のための研究事業
日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募に係る
事後評価コメント

| | |
|----------|--|
| 研究開発課題名 | Molecular Surveillance of Ceftazidime (CAZ) Resistance in Melioidosis |
| 研究開発機関名 | 北海道大学 |
| 研究開発代表者名 | 中島 千絵 |

指摘事項

● 評価できる点

類鼻疽菌の薬剤耐性機序を明らかにするために研究を進めた結果、特定の遺伝子上の系統特異的な多型変異が、耐性の出現頻度や耐性度に違いを検出したことは、実装を目指した LAMP 法による検査法の開発にも期待ができる成果として評価できる。

また、日米の研究協力体制が明確にして研究を進めたことや若手研究者の育成を行ったことは、本事業の趣旨にも合致した取り組みとして評価できる。

● 疑問点、改善すべき点

一年間の研究期間中には論文発表や学会発表には至らなかったが、今後米国との連携を行い、研究で得られてきた成果を発信することを期待する。

以上